

## 令和4年度

## 決算のお知らせ

当健康保険組合の「令和4年度決算」が、去る7月20日に開催されました第155回組合会において承認され、決定いたしました。

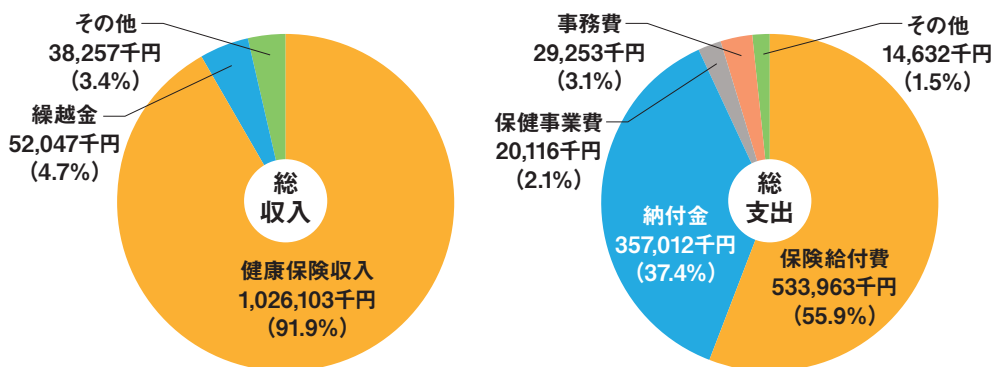
一般勘定の保険料率は9.9%を維持して保険料収入の確保を図り、これまで増加の一途をたどった高齢者医療制度の納付金が前年度より減少となり、その結果、85,837千円の黒字決算となりました。

一方、介護勘定においては、第2号被保険者数とその1人当たりの負担見込額の増加により介護納付金の増加が見込まれるため、保険料率は2.15%を据え置きとし、28,986千円の黒字を計上しました。

ご家族の方には健診を、そして社員の方は保健指導や受診勧奨にしっかり対応をお願いいたします。健康維持のために何が大切かを考え、実践してください。

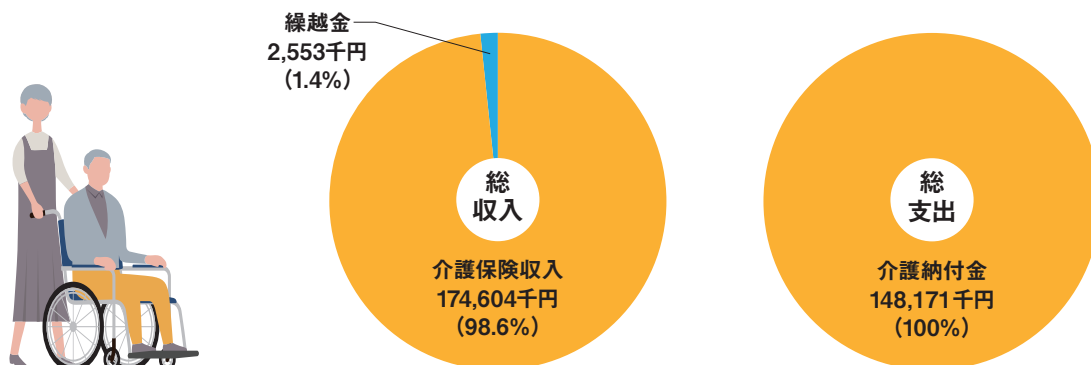
### 一般勘定

総収入は1,116,407千円（前年度比258,058千円、18.8%の減少）、総支出は954,976千円（前年度比247,390千円、20.6%の減少）となり、経常収入は1,026,838千円（前年度比189,499千円、15.6%の減少）、経常支出は941,001千円（前年度比249,453千円、21.0%の減少）となりました。



### 介護勘定

総収入は177,157千円（前年度比31,346千円、15.0%の減少）、総支出は148,171千円（前年度比16,779千円、10.2%の減少）となりました。



# 当健保組合の主な保健事業のご紹介

## 1 グッピーヘルスケア for 健保

健康管理アプリの提供です。  
ヘルスリテラシーの向上や生活習慣の改善を目的に、加入者へのインセンティブ付与を含めたICTを活用した健康管理や情報発信等の機能を持つアプリの提供を実施しています。なお、当選された方はメッセージ欄にクーポンコードが表示されていますので、しっかりメモをしてください。

10月・11月に開催のイベントがあります。登録のうえ参加ください。

## 2 Ascure / 卒煙プログラム

禁煙補助薬とスマホアプリを利用した専属指導員によるオンライン指導です。登録には招待コードが必要です。

申込期限 2024年2月29日

## 3 スポーツクラブネサンス

法人利用料金にて利用可能です。  
オンラインレッスンも開催しております。



## 4 被扶養者・退職者の健康推進

被扶養者と任意継続被保険者の皆様には、今年6月に「特定健診の受診券」を配布しました。受診有効期限が年内(12月末まで)となっております。まだ受診されていない方は、早めの受診をお願いします。

## 役員および代議員の紹介



当健保組合の運営に携わる役員および代議員を紹介します

任期：令和5年4月22日～令和7年4月21日

令和5年4月22日現在

選定代議員			互選代議員		
役職名	氏名	所属事業所	役職名	氏名	所属事業所
理事長	山田 智康	サンケン電気株式会社	理事	平尾 和明	サンケン電気労働組合
常務理事	田中 一誠	サンケン電気健康保険組合	理事	柏谷 修子	山形サンケン株式会社
理事	川瀬 英則	サンケン電気株式会社	理事	黒田 陽子	サンケン電気株式会社
監事	渡邊 隆行	サンケン電気株式会社	監事	佐藤 充孝	サンケン電気株式会社
議員	関 裕一	サンケン電気株式会社	議員	安田 貴和	サンケン電気株式会社
議員	奥山 宙	山形サンケン株式会社	議員	西牧 善信	サンケン電気株式会社
議員	渋谷 かおり	福島サンケン株式会社	議員	佐藤 千秋	福島サンケン株式会社

(敬称略)

# 健診結果に異常があったら 放置しないで医療機関へ！

健診結果で異常を指摘されているのに、「いつものことだ」と放置していませんか。健診結果を受け取ったらしっかり確認し、再検査・精密検査など医療機関の受診を指示されている場合は放置しないで必ず受診してください。

結果が基準値内で「異常なし」の判定であったとしても、昨年までの結果と比較して悪化する傾向がある場合は要注意。健康に不安を感じたり、治療が必要になる前に健康的な生活を意識して、毎日の生活習慣を見直すようにしてください。



## 「要治療」 があったら



すぐに治療が必要な状態ですから、早急に医療機関で治療を始めましょう。適切な治療を継続することで病状の悪化を食い止められます。

## 「要精密検査」 があったら



詳しい検査が必要な状態で放置するのはとても危険！できるだけ早く医療機関を受診し、検査を受けて異常の原因を突き止めてください。

## 「要再検査」 「経過観察」 があったら



健診結果が基準値を外れている状態です。すぐに生活習慣の見直しに取り組みましょう。再検査が必要な場合は指示に従って受けてください。

## 「正常」 「異常なし」 だったら



正常範囲内でも悪化している項目は注意が必要。自分の健康を過信しないで、健康的な生活習慣を維持していけるようにしましょう。

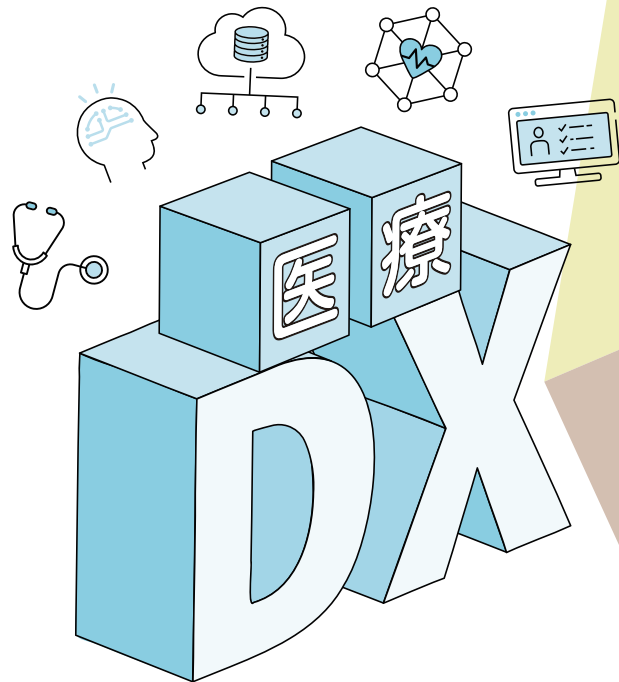
## 生活習慣病のリスクが高い方には**特定保健指導を実施**します

健診結果から生活習慣病のリスクが高いと判定された40歳以上の方には、特定保健指導を実施します。特定保健指導では、保健師などの専門家が生活習慣を改善して健康になるためのサポートを行います。費用は健康保険組合が負担するため無料です。健康を守るための大事な機会ですので、対象になった場合は必ず受けてください。



いよいよ本格始動

# 医療DXが 進められています



超高齢社会に直面する中、デジタル技術によって保健・医療・介護分野のさまざまなデータの活用を図り、国民のさらなる健康増進と質の高い医療の提供などを目指す「医療DX」の取り組みが進められています。

## 医療DXの基盤は マイナンバー保険証とオンライン資格確認

マイナンバーカードを健康保険証として利用する「オンライン資格確認」は、医療DXを推進する上での基盤とされています。このため、マイナンバーカードは、健康保険証との一体化をさらに進め、将来的には現在の健康保険証が廃止される見通しとなっています。

オンライン資格確認は、令和5年4月から、すでに医療機関・薬局で導入が原則義務化されています。さらに今後は、訪問診療の現場や柔道整復師の施術所等にもオンライン資格確認の仕組みが広がる予定です。

※健康保険証の廃止後も、1年間は発行済みの保険証を有効とみなす経過措置がとられます。また、マイナンバー保険証を持たない人には、「資格確認書」が発行される予定です。

## 電子処方箋や電子カルテなど 共有・閲覧できる医療情報も拡大

オンライン資格確認システムでは、本人の同意があれば、使用した薬剤の情報や特定健診の結果、診療情報などを医療機関等が閲覧でき、それらを踏まえたより適切な診療・投薬が可能となっています。また、令和5年1月からは、電子処方箋の共有・閲覧も開始され、重複投薬等チェックの精度向上が期待されています。電子処方箋は令和6年度までにすべての医療機関・薬局での導入を目指して支援が進められます。

また今後は、医療機関や薬局との間で電子カルテ情報を共有・交換する仕組みも検討されています。透析情報やアレルギーの原因物質など、カルテ情報の標準規格化を行い、例えば救急時に患者に必要な医療情報が速やかに閲覧できることなどが期待されています。

## 「全国医療情報プラットフォーム」の構築を目指して

さらに将来的には、共有できる医療情報や機関をさらに拡大した「全国医療情報プラットフォーム」を構築し、生涯にわたる保険医療データの一元的な把握によって個人の健康を増進し、全国の医療機関等が医療情報を共有することで、切れ目なく質の高い医療を提供できるようにするとしています。情報連携は、医療機関・薬局だけでなく、自治体や介護事業者へも広げられる方針です。

### マイナンバー機能を スマホに搭載できる！

マイナンバーカードの機能をスマートフォンに搭載できる仕組みも始まっています。

令和5年5月から、Android端末では、マイナンバーカードのICチップに搭載されている電子証明書を入れることで、マイナンバーカードなしでも、マイナポータルを通してオンライン申請や健診情報の閲覧などができるようになっています。順次、iPhone端末での利用や、コンビニ交付サービス、健康保険証としての利用などのサービスが拡大される予定です。